

包摂ファンドの使いみち

1 安心できる住居を確保 シェルター事業の運営



生活に困窮する人の住まいを支えます

ささしまサポートセンターでは、住まいを失った人たちが安定した居住環境を得られるよう、緊急的な宿泊場所（シェルター）を無償で提供しています。先行的に立ち上げた「シェルター基金」を本基金に統合し、集まった資金でシェルターを確保し、住まいを必要とする人を支えます。シェルター事業の実施状況は“包摂ファンドダイアログ”で報告します。

2 地域や社会の中での役割感 就労体験プログラムの実施



地域や社会の中での役割をつくります

社会の中で孤立した人たちが居場所と役割をもてるよう、生活困窮者向けの就労体験プログラムを整備します。集まった基金で、プログラムの運営費を賄います。具体的なプログラムの内容については、“包摂ファンドダイアログ”での意見交換をもとに立案します。

3 包摂的な市民社会へ 包摂フォーラムの開催



包摂的な市民社会を形成します

市民一人ひとりが包摂的な社会の重要性を認識できるよう、啓発事業に取り組みます。集まった基金で“包摂フォーラム”を開催し、その企画・運営については、幅広い市民の参画による“包摂ファンドダイアログ”で検討します。

包摂
パート
ナー

寄付

包
摂
フ
ア
ン
ド

活用



目標500人

包摂ファンドパートナーとは？

包摂ファンドに寄付してくださる方です。また、集まった資金を有効に活用していくための対話の場“包摂ファンドダイアログ”にご招待します。包摂ファンドを支えてくださる皆さんの知恵をお借りしながら、包摂的な社会を一緒に作っていきたいと思っています。500人のパートナーを集めることを目指しています！

包摂ファンドダイアログ

パートナーとの対話を通じた資金活用方法の検討

